

伝えたい！お米の大切さ農業のすごさ

小島小学校 四年 福田 彩七

私はお米が大好きです。私の家では、毎日
沢山のお米を炊いています。朝に家族が食べ
るご飯と、お昼にお父さんとお姉ちゃんとお
兄ちゃんとお弟が持つて行くお弁当のご飯を炊
いて、夜はまた別に炊いて、毎日沢山のご飯
を食べているので、あつという間にお米が無
くなつてしまいます。お米は私にとつて、元
気の源で無くてはならない食べ物です。

そんな美味しいお米はどうやって作られて
いるのか調べてみました。私のお母さんは小
学生の時、学校の授業で米作りの体験をした
そうです。

体験して始めて学べる事、身を持って感じ
られる事がある。今、思うととても良い体験
をさせてもらった。と言っていました。私のお家は農家ではない
ので体験をした事ありません。ただ知る事
は私でもできると思っています。

ろ月頃から種^{たね}の準備をし、苗^{なえ}づくり、田^{いり}んぼの土作り、5月頃に田^{たうら}植え、水の管理、
9月頃に稲刈^{いなか}り、又穫^と、乾燥と調整、保管とな
り、見るだけで、お米ができるまでに、一年
間かかるのがわかります。その他にも、ここ
には書ききれないくらい沢山の仕事があり農
家の人がお米を作るのにどれだけの時間をか
け、どれくらい大変な仕事をしているのか知
る事ができました。

最近、ニュースでよく見るのが物価高や備
蓄米という言葉です。お母さんもよく口にす
るようになりました。お米の値段が上がった
り、当たり前前に食べれていた物が買えなくな
り、当たり前前ではなかったのだと、お米の、
大切さを実感しています。ニュースでえらい
おじさんが言っていました。

「日本は、さまざまな自然災害のリスクと常
に隣り合わせで、私達が普段食べているお米
や、政府が保管している備蓄米は、日本人の
食文化に無くてはならない物でもあり非常時

には、命や人の心を支える大切なエネルギー源である。

私にとって、この言葉は、とても印象に残りました。暑い中、汗を流しながら働く農家の皆さんは、私たちの生活を支えるとても大切な仕事をしてくれているのだと思います。

そのため私はこれからも、農家の方々に感謝の気持ちを忘れず、お米を一粒も残さないように、きれいに食べようと思っています。そして、農家さんのお米の大切さを少しでも皆人に伝えていけたらいいなと思っています。